

腎臓内科 研究業績 (2019年)

学会発表(特別・教育講演、シンポジウムを含む)

- 1 ① 岡田有香、福田奈美子、松村幸子、岩本雅美、竹中義昭
- ② 手指衛生向上に向けた取り組み
- ③ ポスター
- ④ 第64回日本透析医学会学術集会
- ⑤ 横浜
- ⑥ 2019/6/28

⑦ 手指衛生実施の現状を直接観察法によって評価した。結果、手指衛生は、通常時にはよく行っているものの、急な処置等の際には、十分には行えていないことが判明した。今後、手指衛生の方法における問題点の洗い出しや現状把握を進めるべきであると考察した。

- 2 ① 大川智史、深尾亘、竹中義昭
- ② 片側胸水を繰り返し気管支鏡検査で肺結核症を診断し得た維持血液透析患者の一例
- ③ ポスター
- ④ 第64回日本透析医学会学術集会
- ⑤ 横浜
- ⑥ 2019/6/30

⑦ 血液透析患者の左側多量胸水について、穿刺液で抗酸菌染色陰性、結核菌PCR陰性にて、胸膜癒着術を実施した。が、その半年後に、右側多量胸水貯留を来し、気管支鏡による肺胞洗浄液検査で結核菌PCRが陽性、肺結核を診断した。透析患者の結核症頻度は高く鑑別診断に結核症を考える姿勢が重要と考えた。

- 3 ① 竹中義昭
- ② 慢性維持血液透析の導入や透析終了における問題の症例
- ③ 口演
- ④ 第39回兵庫県透析研究会

⑤ 神戸

⑥ 2019/10/27

⑦ 医療における決定にACPを行うことが謳われており、透析医療においても、透析開始や終了等にACP実施は必然である。然しながら、患者、家族の意に沿わない決定や誘導、医療者のみで透析終了と決めた症例等のACPを否定する事例を見聞き、透析医療に疎い透析非専門の医療者に啓蒙が必要であると問題提起を行った。

4 ① 細井恵理子、大川智史、深尾亘、竹中義昭

② 蛍光抗体法でIgG陽性を示したp-ANCA陽性顕微鏡的多発血管炎の1例

③ 口演

④ 第223回近畿地方会

⑤ 京都

⑥ 2019/3/2

⑦ 急速進行性腎炎、ANCA腎炎の症例において、腎生検による免疫染色でIgGのメサンギウム領域、血管係蹄壁への沈着を認めた。ANCA腎炎の場合、一般には、免疫染色の陽性を見ないpauci-immune型なので、非典型的症例の経験として報告した。

5 ① 大川智史

② 急性腎障害の症例検討

③ 口演

④ 宝塚市立病院内科症例オープンカンファレンス

⑤ 宝塚

⑥ 2019/3/13

⑦ 急性腎障害の症例を呈示した

6 ① 深尾亘

② 急性腎障害の診断

③ 口演

④ 宝塚市立病院内科症例オープンカンファレンス

⑤ 宝塚

⑥ 2019/3/13

⑦ 急性腎障害の診断について、病態、症状、所見、診断方法などを講演した

7 ① 大川智史

② 特殊血液浄化療法を行った症例

③ 口演

④ 宝塚市立病院内科症例オープンカンファレンス

⑤ 宝塚

⑥ 2019/10/16

⑦ 白血球除去療法や腹水濃縮など、血液強化治療を行った症例の呈示を行った。

8 ① 深尾亘

② 特殊血液浄化療法総論

③ 口演

④ 宝塚市立病院内科症例オープンカンファレンス

⑤ 宝塚

⑥ 2019/10/16

⑦ 血漿交換や血漿吸着療法、白血球除去療法など、多種類多様な血液浄化療法について、原理、目的、対象疾患、実際の治療等を講演した。

9 ① 竹中義昭

② CKDとポリファーマシー

③ 口演

④ 兵庫県病院薬剤師会西宮支部学術講演会

⑤ 西宮

⑥ 2019/3/14

⑦ CKDの病態や治療、さらに、CKDの治療が集学的治療であること、多疾患が併発する病態のため、必然的に多剤投与を行うことになること、その中で、polypharmacyを如何に避け、必要な治療を行うのか等を講演した。

10 ① 竹中義昭

- ② 糖尿病の合併症④腎症
- ③ 口演
- ④ 宝塚市立病院糖尿病教室
- ⑤ 宝塚
- ⑥ 2019/11/27
- ⑦ 糖尿病合併症の糖尿病性腎症について、病態、症状、腎不全への進行、保存的治療、透析治療等についての講演を行った。